

TOKYO COLLEGE

共に考える未来 Shaping the Future Together



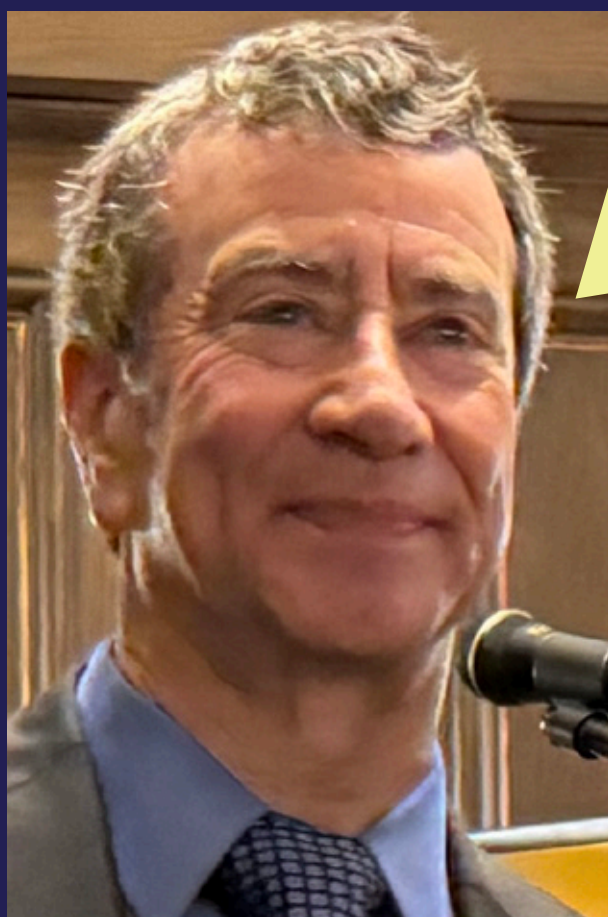
講演会

Zoom
ウェビナー

世界大戦と 銃後の「民心」： 国境を超えた 言説の構築と崩壊

20世紀に登場した「民心」という言説は、明確な定義がないまま現れ、かつてない数の人たちを死に追いやりました。ヨーロッパや東アジアの戦争当事国は敵国民の「民心をくじく」ために空爆や食糧封鎖を行い、多くの民間人が爆撃や飢餓の犠牲となりました。都市や民間人の心を攻撃することが戦争に勝つための「当たり前の手段」になった背景には何があったのでしょうか。民心に関する思想や実践は、第一次世界大戦から第二次世界大戦にかけて、世界中で急速に広まりました。国を超えたその展開が、1914年から18年にかけての英独による相互海上封鎖、「民心動向報告」の導入、都市や軍事施設への空爆、米国の対日「飢餓作戦 (Operation Starvation)」などの重大な事例につながりました。

2025. **10.22** (水)
15:00～16:00



講演者

**Sheldon
GARON**

東京大学東京カレッジ
招聘教員；
プリンストン大学
教授

司会

Michael FACIUS

東京大学 東京カレッジ
准教授



主催

東京大学国際高等研究所東京カレッジ

言語

英語(日本語同時通訳)

お問合せ

東京大学国際高等研究所東京カレッジ
tokyo.college.event@tc.u-tokyo.ac.jp

要事前登録



事前登録は
こちらから



東京大学国際高等研究所東京カレッジは、お申込みの皆様の個人情報を収集させていただきます。ご記入いただいた個人情報はメールによるイベントの案内、連絡等に利用する場合がありますが、いかなる第三者にも開示いたしません。

東京カレッジは世界の第一線で活躍する研究者や知識人を招き、市民の皆さんと一緒に未来社会の様々な側面について考える場を作ります。

Tokyo College aims to generate new knowledge to contribute to the creation of an inclusive society and spark deeper public engagement with the University.



facebook



X



Mail Magazine

